



ぼくたちの未来は きずなでつながるよ!

(大法師公園にて)

■ 新年度予算総額71億2844万円	2
■ 委員会報告	5
■ 補正予算・条例	8
■ 臨時議会・組合議会報告	9
■ 一般質問(9議員が登壇)	11
■ 寄稿 郷土の先人たち	20

平成23年度

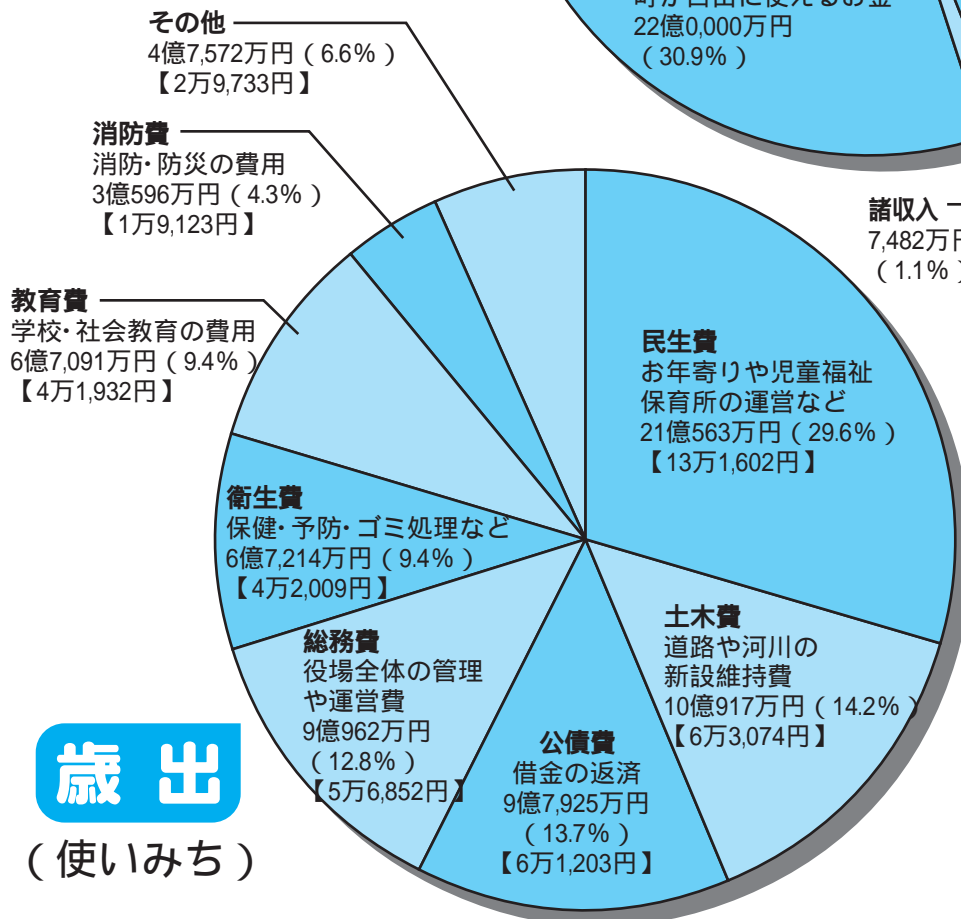
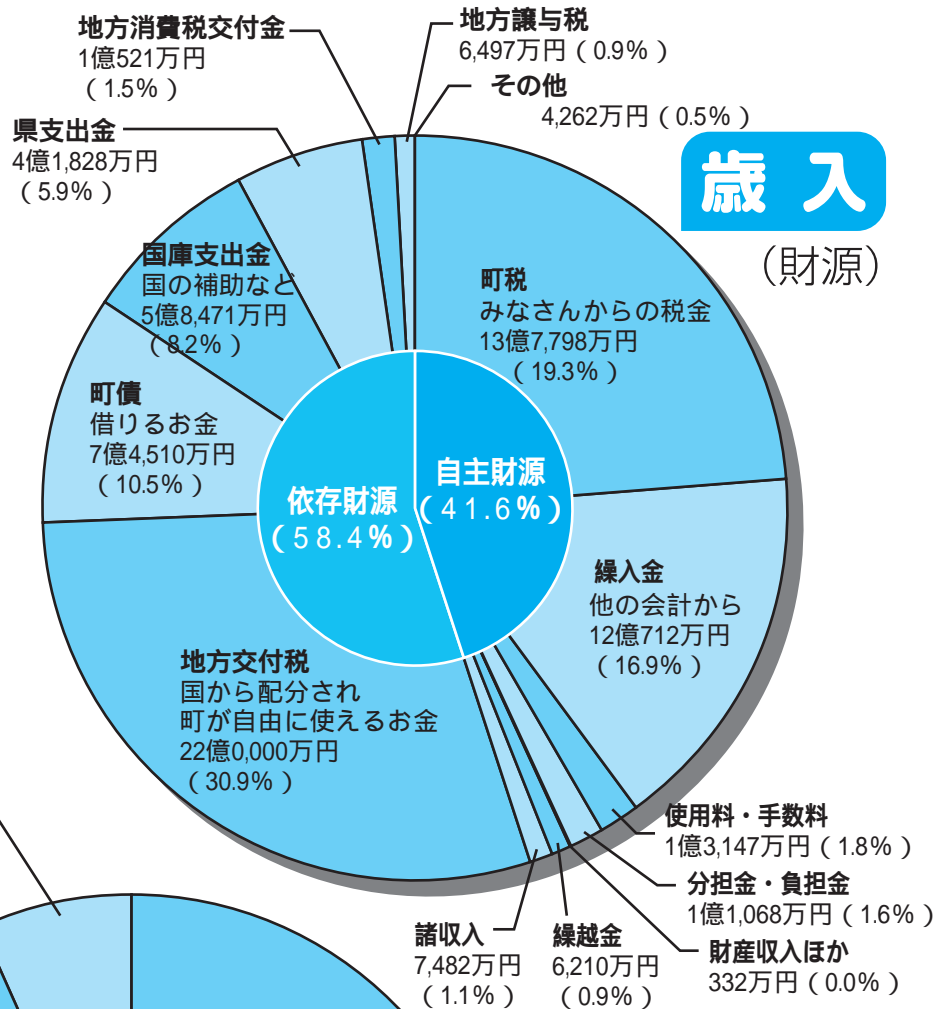
一般会計予算

71億2844万円

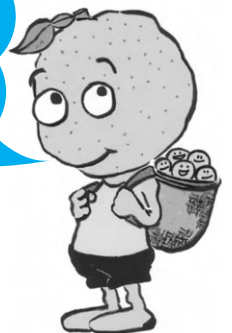
福祉・教育のさらなる充実を

平成23年3月定例会が、3月11日から25日までの会期で開催されました。今回は平成23年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など、提出された42の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

歳入 (財源)



【内の数字は
全人口1万6千人で割った
町民1人当たりのお金です。】



ほずみゆずたろう
(穂積地区のキャラクター)

歳出 (使いみち)

新年度の注目事業

総務常任委員会

- ・富士川町総合計画 = 平成23年9月予定
- ・議員年金廃止 = 23年6月1日
- ・町営バス一律200円=23年7月
(中学生までと65歳以上は無料)



教育厚生常任委員会

- ・エアコン設置 = 各保育所に順次年度内に設置
- ・増穂小学校電気設備改修工事
- ・第4保育所大規模改修設計業務
- ・地域福祉計画作成業務
- ・地球温暖化対策実効計画策定業務
- ・教育振興計画策定支援業務



エアコンが設置される
各保育所



産業建設常任委員会

- ・河岸跡朝市（仮称）開催=23年7月予定
(直売所を月2回、午前9時から正午まで)
- ・観光交流センター（道の駅）詳細設計業務 =
検討委員会を開催し、意見・提案をいただき
ながら詳細について協議する。



朝市開催予定の河岸跡

平成23年度特別会計予算

・国民健康保険	17億2,244万円	・営農飲雑用水事業	639万円
・老人保健	549万円	・箱原農業集落排水事業	1,563万円
・後期高齢者医療	3億3,315万円	・鹿島財産区	5万円
・介護保険	15億6,096万円	・カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	56万円
・介護サービス事業	1億0,392万円	・活性化事業	2億0,095万円
・奨学金	72万円	・峡南地区ことばの教室共同設置	108万円
・簡易水道事業	1億2,530万円	・峡南地区充指導主事共同設置	88万円
・下水道事業	11億3,881万円		

おもな質疑

基金をどう考えているのか？

問 23年度は基金を12億円くらい取り崩すが、国保や老人保健などに11億円くらい繰り出すことになる。富士川町の町債残高は78億8千万円、次年度に向け、この財政をどう考えているのか。

答 自主財源である町税が約19%、13億7、798万円。地方交付税も22億円。年度末決算時には取り崩した金額をできるだけ元に戻す努力をしている。町債は22年度で70億円の残額が見込まれる。償還金額と借入金額では償還金が多い。

事業評価は生かされているか？

問 住民評価委員会をつくったが、23年度予算に事後評価を生かしたか。

答 厳しい財政状況の中、事業の優先順位を決め予算編成した。町税が約1億円減っており、繰り入れを12億700万円計上、この内、財政調整基金では4億5千万円となっている。公共施設整備事業は起債もできるが、当該年度に補助がないものはやめ、町債の償還のときに交付税バックがある有利な起債を取捨選択し事業する。全体は議会で、外部評価は町の単独事業を評価してもらおう。

財政シミュレーションは？

問 町債、繰入金金が2億円多くなった。当初予算では町債も7億円を超える。財政シミュレーションはあるか。

答 10年先のものを毎年作成しており、公表できる。

大法師さくら祭りを町民の手で！

問 補助金は前年度50万円が200万円になった。決算時に余れば返す話があったが、補助金なら実行委員会の会計に入る。町には戻らないのか。

答 補助金には奨励的な補助金、予算補助的な補助金があり、これは事業を執行するための財源措置のための補助金である。補助金額は予算の範囲内で交付決定し、事業が確定したあと実績報告をとり、はじめて額の確定をする。余りが出れば返還する。最終的な精算は事業が終わったあと、実績報告を見ながら200万円の範囲で額の確定をしていく。

23年度予算の目玉は？

問 23年度予算で町長が考える重要な事業は何か。

答 保育園から中学校まで、子どもたちの生活・教育環境をよくするため、エアコンを設置したい。初年度は保育園に全部入れる。小中学校も今年度以降、キュービクルの整備をする。今回一番大きな事業だ。

委員会レポート

総務・教育厚生・産業建設常任委員会は、3月16日(水)17日(木)に委員会を開催し、付託された一般会計など慎重な審査を行いました。これは、その内容を要約したものです。

総務常任委員会

一般会計

問 峡南広域シルバー人材センター事業費負担金の内容は。

答 構成する峡南各町から代表町の富士川町が負担金(均等割10%、人口割90%)として収入し、歳出予算1、614万円をシルバー人材センターに支出する仕組み。

問 町税の滞納繰越分は現在どのくらいか。

答 3月1日現在の滞納繰越分の累計は1億526万8千円である。

問 軽自動車は買い取り、普通車はリースで取り扱うのか。

答 軽自動車はリース総経費より、買い取りのほうが安価。普通車は車検費用等のランニングコストが、買い取り使用より安価でリースによる導入が有利。

問 ふれあい110番の看板更新、旧鯉沢町への対応は。

答 23年度予算で富士川町ふれあい110番看板を会員分作成。鯉沢地区は、設置に向けた状況調査を実施している。

問 総合計画作成の必要経費はどのくらいか。

答 23年9月議会に提案する印刷製本費150万円を計上、本編500部、概要版6、500部の作成費である。

問 23年度に事務事業外部評価を行うのか。

答 22年度同様、町単独事業を中心に実施する。経費は行政改革推進費の中の報酬費・講師謝礼に外部評価委員の5人分を計上。

問 広報費が150万円減額されている理由は。

答 広報費および暮らしのカレンダー印刷製本費が775万円だったが、今年度は464万円、昨年と比較すると311万円の減額。新規事業分としてタウンセー

問 地域づくり推進事業150万円の内容は。

答 自治組織および公益的



もっと活用しようシルバーの力

問 議会費が約2、100万円も増額されているが。

答 地方議会議員年金制度が、23年6月で廃止となる。それに伴い、これまでの年金受給者の負担を町が行うことになったため。

教育厚生常任委員会

一般会計

文化ホール

問 文化ホール友の会会員の見込み人数は。

答 個人が150人×2千円、家族会員100人×5百円の250人で、35万円を目標にしている。

問 文化ホールの庭園を活用した事業が好評だったが、23年度も事業をするか。

答 参加者自身が作った物を販売するアートフリーマーケットの開催を考えている。また、NPO法人と共催で、昨年度も実施した忍者遊びの参加型野外公演を開催する予定。

問 文化ホールの23年度の特徴は。

答 次世代育成、参加創造文化普及、庭園活用、鑑賞が事業の柱。合併1周年・開館20周年記念に、劇団四季のミュージカル公演も予定。

教育費

問 増穂小消耗品費393万円、食器を買い換えるのはなぜか。

答 ノロウイルス対策の塩素消毒で、プラスチック食器の表面加工がざらざらになり、消毒に耐えられない食器に替える。

問 鵜沢小の土地借地料499万3千円はどこに支払うのか。

答 6、132㎡を借りて

いる経王寺に払う。鵜沢中では1、756㎡を借りている蓮華寺に142万9千円を払う。

問 増穂中の町単講師賃金1、057万6千円は4人分の賃金だが、2年生のクラス編成は。

答 2年生は118人の予定で、1年時は35人学級で4クラスだった。2年生と3年生は40人学級になる。121人いると4クラス編成にできるが、118人では3学級。1クラスを2人で教える指導形態を考えて

いるため、町単講師賃金も含まれる。

支援事業に1、219万4千円などである。

問 教育費の委託料325万円の教育振興計画策定支援業務はどんな計画か。

答 教育行政の現状を把握し、将来的な方向性や重点的に取り組む施策・事業の計画を立てるため策定。

問 かじまるスポーツクラブに30万円の補助金を計上しているが、町としての位置づけは。

答 21年11月にスポーツを楽しむ身近な場として設立されたクラブで、マネージャーを頂点とした地域住民が運営主体。会費など自主財源での運営が理想だが、軌道にのるまで町として補助をする。

衛生費

問 地球温暖化対策実行計画策定業務221万円の内容は。

答 市町村の事務事業に温室効果ガスの排出量削減・吸収作用の保全強化のため「地方公共団体実行計画」策定が義務付けられた。23年度は実行計画の区域施策編を、地域住民の方々の意見を聞き作りたい。

問 国民健康保険特別会計

問 レセプト審査支払手数料381万6千円は何件分か。
答 国保団体連合会に1件53円の7万2千件分。

問 介護保険特別会計

問 介護予防一般高齢者事業委託料908万5千円の内容は。

答 「いきいき筋力教室」講師派遣費用161万3千円、いきいきサロン・ことぶきデイルーム424万1千円、ふれあいサロン263万1千円などである。

民生費

問 高齢者福祉費の委託料1、678万7千円の内訳は。

答 ふれあいペンダントの保守業務246万円、軽度生活支援事業は174万円、生活支援ハウス運営に30万3千円、生きがい活動通所



一部借地になっている鵜沢小・中学校グラウンド

産業建設常任委員会

一般会計

問 市民農園の利用状況は。
答 2カ所51区画の内、10区画が空いている。

問 新規生産物実証事業委託料465万6千円の内容は。
答 農協に委託し2人雇用、ホンモロコ、酒米、山ユリ

問 鮮魚売場設置工事等
答 525万円の内容は。
問 河岸跡朝市のためのプ
答 レハブ・倉庫設置費などで
 の生産実証をお願いしている。
問 有害鳥獣防除報償費
問 農業ルネサンス総合支

340万円の内容は。

答 さる40匹、シカ60頭、

イノシシ100頭の駆除報償費、22年度より40万円増額

問 鮮魚売場設置工事等
答 525万円の内容は。

問 河岸跡朝市のためのプ
答 レハブ・倉庫設置費などで
 の生産実証をお願いしている。
問 有害鳥獣防除報償費
問 農業ルネサンス総合支

援事業100万円の内容は。
答 河岸跡朝市実行委員会
 運営費。

問 町のまつり・イベントは、
 どのように行うのか。

答 さくら祭り、甲州富士
 川まつりを旧町からの2大
 まつりとし、地域や商工会
 等にお願する。

問 道路、水路工事の場所
 はどう選定されるのか。

答 危険度・緊急性を考慮
 し決める。

問 橋梁点検業務委託料2、
 200万円の内容は。

答 町道160橋の内、15
 m以上32橋、以下40橋を点
 検予定。

問 大法師公園・園路整備
 事業2、830万円の内容は。

答 公園北側の道路400
 mをインターロッキングに
 改修。

問 土壌調査手数料15万8
 千円の内容は。

答 旧鯉沢病院跡地の土壌
 検査を行う。

問 観光交流センター（道
 の駅）詳細設計業務等4、
 250万円の内容は。

答 内容はこれから町民の
 代表と協議していく。

問 簡易水道事業特別会計
 白子地区配水管布設工
 事160万円の内容は。

答 南川橋への仮設配管を
 復旧する。

問 公共下水道工事請負費
 1億2、820万円の内容は。

答 増穂商業高校西側付近
 で最勝寺15号線が主な路線。
 巻米7号線、利根川公園2
 号線など2、240mを予定。

問 増穂商業高校西側付近
 で最勝寺15号線が主な路線。
 巻米7号線、利根川公園2
 号線など2、240mを予定。

問 導水管本復旧工事300
 万円の内容は。

答 水源から長知沢地区へ
 谷を越え給水するためのワ
 イヤーが切れ、修復する工事。

問 箱原農業集落排水事業特
 別会計

問 非常用エンジンポンプ
 取替工事210万円の内容は。

答 非常用エンジンが故障し、
 修理ができない。

問 塩の華・つくたべかん特
 別会計

問 21年度決算で職員人件
 費が経営の重荷と指摘したが、
 23年度予算は改善されたか。

答 23年度も同様の体制で
 臨む。

問 パート、アルバイトの
 定年制を協議したか。

答 今後検討していきたい。

問 22年度の売り上げが減
 少していると思うが。

答 原因を分析している。

問 水道事業特別会計
 本町地区から水道水の
 水質改善や、良質な飲料水
 の確保などの要望がある。

答 23年度アンケート調査
 で要望を確認し、統合した
 場合の財政シミュレーショ
 ンを作り、水道委員会で検
 討したい。



災害に強い橋を！

まずほ児童センターを改修

1億3,978万円を減額し

総額73億1,692万円となる

補正予算質疑

テニスコート整備の増額補正は

【追加工事に至る過程】
建設から23年を経過しその間、数度にわたり陥没し補修工事を行なってきました。

今回、全面改修を行なうにあたり、地盤調査を行なうことを当局に指摘してきましたが、今回コンクリートガラが出てきたため、このままではコート整備ができないとの説明について、各議員から「いまさら何を言っているのだ」との声が出されました。現地確認を行い現状および今後の対策について議論し追加予算を承認することとしました。本会議で教育長から設計業務における判断の甘さについて謝罪がありました。

問 コートの張替えを始めたところ大量のガラが出てきたため、ガラの撤去、コート地盤の強化のため、1、220万円の増額となっているが追加工事規模からすると金額的に無理があるのではないか。

答 前回入札時の予定価格と入札価格の差額があるので、追加補正分で完成できる。

繰越予算は

問 水辺プラザ整備事業3、050万円の執行に当たって、力又一発着場などの希望を入れた計画変更は可能か。

答 いずれは利用も考えるが、当初の計画通り進める予定である。

同意

・人権擁護委員（再任）
佐々木勝利氏（鯉沢）

・教育委員会委員（再任）
中込 文江氏（鯉沢）

意見書

3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に、心からお見舞いを申し上げますとともに、国に対し復旧・復興に向け万全なる対策をとるよう強く要望し、議会として国に意見書を提出しました。

かじかの湯
デイサービスセンター

指定管理者
決まる

・団体名
社会福祉法人
かじかの会

・契約期間
平成25年から5年間

平成22年度補正予算の概要

一般会計

・障害者医療費等返還金(障がい者福祉費)	328万円
・広域入所委託料(保育所総務費)	398万円
・地籍図異動修正業務(地籍調査費)	346万円
・利根川公園テニスコート整備事業(社会体育施設費)	1,220万円
・保育用図書購入費(保育所総務費)	80万円
・まずほ児童センター改修費(児童館管理費)	1,281万円
・ごみ収集計画表外国翻訳業務(清掃総務費)	100万円
・町民会館図書購入事業費(公民館費)	380万円
・図書館用PCサーバー購入費(公民館費)	25万円
・町民会館図書館エアコン設置工事費(町民会館管理費)	160万円

条例

3月定例会は、学校給食センター設置に関する条例の制定案1件、改正案7件が提案され、審議した結果、原案のとおり可決しました。主なものは次のとおり。

ごみの収集袋値下げへ

リサイクルステーションの整備、町民のエコ意識の向上などにより、ごみの量が減っていることや、近隣市町村の状況を調査した結果、ごみ収集袋をこれまでの1枚20円から14円に値下げする。

問 町の財政状況が厳しい折あえてここで下げることがあるのか。

答 他の町に比べて高いという町民の声もあり、近隣の市町村などの料金も調べた結果、14円に設定した。

問 この条例の施行は5月1日になっているが、一般の小売も5月1日からと考えてよいか。

答 町民への周知を図るために5月1日とした。

問 在庫を抱えている店には、どのような対応をするのか。

答 お金ではなく、その分を物で精算する。

町営バスの料金を一律200円に改正する。65歳以上、中学生以下は無料とする。

問 デマンドバスを使わなければならぬ方たちは、年齢に関係なく300円である。公平性の観点からどうか。町の考えを問う。

答 デマンドバスは、利用者の家まで迎えに来てくれるという違った利便性がある。町営バスは町が運営しているが、デマンドバスは町内の民間タクシー会社に委託しているなど、いろいろな整合性を

値下がりするごみ袋



考えながら実施している。今後、鰯沢地区にもデマンドバスを広げたり、料金体系の見直しもしていきたい。

町の行政組織の一部を改正し、地域振興課を商工観光課と名称変更する。それに伴い、企業立地推進室を商工観光課に移す。

問 企業立地というのは、今後のまちづくりの基本である。これまで同様、企画課に置くべきではないか。

答 すべての課題は、政策会議において最終決定するので、企画課に属さなくても問題ない。

臨時議会

平成23年2月18日に臨時議会が開かれ、一般会計補正予算・下水道特別会計補正予算・名誉町民(3人)の選定について審議し、全会一致で可決・承認されました。

補正予算のおもな内容

・かじかの湯および鰯沢デイサービスセンター改修工事	8,402万円
・保育所図書購入費	200万円
・鰯沢小・中学校図書管理システム導入費	395万円
・西小学校校舎塗装工事	408万円
・南小学校図書室エアコン設置費	287万円
・鰯沢小学校教室床張り替え工事	479万円
・増穂中学校雨漏り改修工事	1,795万円
・東川付け替え工事の増	1億7,814万円

各広域行政組合の予算を可決

峡南広域行政組合

一般会計予算 15億7,299万8千円
 介護保険特別会計予算 2億4,114万4千円
 峡南ふるさと市町村圏特別会計予算 2,081万7千円
 平成23年度峡南広域行政組合負担金

(単位：千円)

	一般分等 負担金	町村電算 システム 負担金	広域ネット 整備事業 負担金	緊急通報 システム 負担金
市川三郷町	3億1,820万6	2,247万3	1,004万9	78万7
富士川町	3億4,177万4	2,130万3	877万6	78万0
早川町	7,334万1	1,238万8	646万3	12万4
身延町	3億2,397万3	1,937万6	995万5	101万0
南部町	2億1,980万7	1,794万2	1,254万1	45万3
合計	12億7,710万1	9,348万2	4,778万4	315万4



広域で支えている消防本部

三郡衛生組合

一般会計予算 1,721万8千円
 し尿処理事業特別会計 3億2,006万5千円
 火葬事業特別会計 2億0,580万8千円

平成23年度三郡衛生組合負担金

(単位：千円)

	一般会計	し尿処理場	火葬場	23年度合計
市川三郷町	268万4	3,739万8	1,487万4	5,495万7
富士川町	302万9	4,777万6	1,676万7	6,757万4
南アルプス市	734万1	2億1,066万9	6,922万6	2億8,723万6
中央市	150万4	0	3,540万3	3,690万7
昭和町	108万8	0	2,189万5	2,298万4
合計	1,564万8	2億9,584万4	1億5,816万8	4億6,966万0



休憩室改修予定のふじかわ聖苑

中巨摩地区広域事務組合

3月30日、定例組合議会が開催され、予算案を全会一致で可決しました。なお、組合運営における入札・随意契約のあり方について「改善すべき」との意見が多数出され、今後の検討課題とすることを確認しました。

平成23年度予算表（中巨摩地区広域事務組合）

(単位：千円)

年度	会計	一般会計	ごみ処理事業	地区公園事業	老人福祉事業	勤労青年センター事業	し尿処理事業	合計
本年度		3,680万4	16億2,713万2	926万0	3,598万8	1億0,447万5	2億5,806万0	20億7,171万9
前年度		3,507万1	18億2,064万8	826万0	3,086万8	5,802万5	2億5,660万5	22億0,947万7
比較		173万3	1億9,351万6	100万0	512万0	4,645万0	145万5	1億3,775万8
増減率		4.9%	10.6%	12.1%	16.6%	80.1%	0.6%	6.2%

富士川町負担金は1億9,020万円で、前年度比1,899万円（9.1%）の減である。

主な理由は組合の借金返済が大幅に減少したことによる。

- 勤労青年センター事業の大幅な増額理由は、センター体育館耐震化工事のためである。
- 老人福祉事業増額の主な理由は、温泉しゅんせつ工事費900万円の増による。

町政を問う 一般質問

小林 進 議員



問 合併1年の総括は

答 町の活性化めざし
全力で取り組んだ

問 町政のこの1年の総括をどのようにとらえているか。
町長 町民の一体感の醸成を図りつつ、町の活性化と暮らしやすさを高めるため、全力で町政運営に当たってきた。

問 国の合同庁舎の実現は

問 町長はこの1年どのように取り組んだのか。現状説明と今後の見通しは。

町長 国・県に直接出向き、事業促進をお願いしている。「地域主権改革」が不透明な部分もあるが、早期事業化に向けて働きかけを行っていく。

問 富士橋の早期架け替えは

問 昨年1年間、県に対してどのようなアクションを起こしたのか、その現状と今後の見通しを問う。

町長 重要路線なので県に架け替えを要望している。富士川を渡る橋梁の整備に

ついては、上流から順に検討がされているものと認識している。

問 旧五開小学校の利活用は

問 この1年間、どのような検討がされたか問う。

企画課長 地元と検討協議会を設置し、地域の活性化につながる企業等を現在募集している。

問 地元の要望に対しての見通しは。

企画課長 企業から応募がされたときは、十分に審査をしていく。応募がない場合は地元の要望に沿って整備していく。

問 町長の政治姿勢を問う

問 町の課題について、どのように住民の意見に耳を傾けてきたのか問う。

町長 区長会や各種団体の会議はもちろん、ひざづめ談義など現場に出向き、直接耳を傾けてきた。

問 まちの政策立案のプロセスは

問 政策をどう立案しているのか、そのプロセスを問う。

町長 各担当でリーダーを中心に対応策を検討し、関係課長による政策会議で決定している。

問 リーダーや若い職員レベルで指導が必要と思うが、町長の考えを問う。

町長 声のトーンを下げ、叱責を含めて育成指導する。

問 議会とのかかわり方は

問 政策決定・問題解決に議会とどうかわるのか。

町長 お互いの役割を十分に尊重する中で、時間をかけ議論を尽くし、決定や解決をしなければならない。

問 町長室を移す考えは

問 町長室を2階から1階に移す考えがあるか。

総務課長 開かれた町長室として、現状通りとしたい。

問 火災予防と生活環境は

答 安全・安心の生活環境をつくる



保坂 實議員

問 県内各地で枯れ草火災が発生している。本町では「雑草の除去条例」や「除去施行規則」で、地権者や占有権者に適切な行政指導をし、幸い火災発生をみていないが、町内の一部に不適切な状況が散見される。

答 安全・安心な生活環境確保のため、消防法や生活安全条例に沿った行政指導の現状を問う。

総務課長 この条例は、占有者等の不適切な状況除去が目的で、現地確認し占有者等には改善指導を行っている。

問 占有者等の事情で除去不能の場合、施行規則による費用弁償（1㎡当たり100円以内）徴収の実情を問う。

農林振興課長 行政対応による除去実例は現時点ではない。



耕作放棄地の整備を

問 中山間地域の空き家対策は

問 無住の空き家と廃屋が増加の傾向にある。火災予防・防犯・生活環境面から検証が必要だ。実態把握の現状は。

総務課長 実態把握はしていない。防火・防犯上危険

な情報があれば現地調査し、占有者等に必要な行政指導を行う。

問 地域再生の考えは

総務課長 地域活性化に努力する。空き家の利活用ができるよう考えている。

問 富士川町 町民憲章は

問 制定した町民憲章にふさわしいまちづくりには、町民の公共と道徳心が必要不可欠と考える。理想とする生活環境づくりを実践していくための、行政の考え方を問う。

町長 『人のきずなとぬくもりを大切に 共に働き 学びあい 互いを認め 助け合う 笑顔あふれる町をつくります』この町民憲章を理解していただくために、役場前に憲章碑を建立した。今後、あらゆる機会を通じて、憲章の精神を生かした町づくりを進めていきたい。

問 病院改革は県主導で取り組むべき課題では

答 主体は県、実行は富士川町と市川三郷町

秋山 貢議員



問 地域医療再生計画は山梨県が主導すべき計画である。峡南医療圏の再生計画では市川三郷町立病院と、鵜沢病院の関係についての記述がある。

答 県はこのままの状態が続くと、両病院とも機能しなくなる恐れがあると指摘している。病院改革は、山梨県主導で取り組む課題だと考える。

山梨大学医学部と連携しながら、県主導による病院再編を促すべきと考えるが、**町長** 峡南北部地域の医療再生計画は、主に医師確保と救急医療の充実を目的に

医療機関の共同経営化や連携に主眼を置いて策定されている。

鵜沢病院と市川三郷町立病院は、経営母体が異なるとともに両町が関係することから、町民の理解を得なければ計画は実現できない。このため、対象地域が主体となつて進めることが望ましいという観点から、地域医療体制調査検討委員会を設置した。

県に任せきりでなく、こ



調査検討委員会の方向性は？

の地域にあつた医療体制を作りたいたいことから、主体は県だが実行部隊は両町である。

問 県が地域住民に対して、病院改革の必要性を説いて課題解決に向けての将来的な地域医療の枠組みはこうだと示すべきである。

町 町の垣根というものがあ

るのも事実で、これを超えるためにも、県にはさらに力を出してもらいたい、**町長**の考えは。

問 地域医療支援センターの事業を推進する要の責任者は、町の職員が担うべきではないか。

福祉保健課長 地域包括支援センターの責任者である主任介護保険支援専門員については、現在、町社会福祉協議会から職員の派遣を受けている。町職員が23年2月に資格を取得したので、産休から復職する24年4月から配置できると考えている。

問 町職員を配置できるか

町長 今、県の福祉保健部長、医務課長もこちらに足を運びながらやっており、山梨大学とも連携している。決して町主導でやっているわけではなく、県主導でやっていると思つている。そして、医務課にも病院のスタッフがあり、両町と一緒にしながら進めている。必要な場面になれば、これからの山梨の医療ということ、県も住民説明に入る予定でいる。

問 地震防災マップの作成、配布は

答 今後作成していきたい



堀之内美彦 議員

問 地震が発生した場合に考えられる、各地の震度を示した揺れやすさマップ、地域ごとの建物被害の危険性を示した危険度マップを作成し、地震災害への備えが必要だ。

安全・安心のまちづくりのため、地震防災マップの早期作成配布が必要だが、本町の対応を問う。

町長 地震防災対策措置法により努力義務である。防災マップは今後、発生するとされている東海地震発生時の被害予測や、住民の防災意識の向上・維持、住宅の耐震化の促進、地震被害

の軽減を図るためにも重要であるので、今後、作成を考えていく。

問 富士川舟下り

問 地域の特性を生かした観光振興は、経済の活性化に向けた重要な政策課題である。魅力ある観光地づくり、観光産業の育成が必要だ。

富士川流域の観光振興は地域活性化の観点からも重要と考える。今、民間活力で富士川舟下りが計画され進められているが、整備された水辺プラザなどと連携させた施策が必要と思う。町の考えを問う。

答 各施設を連携し振興につなげる

町長 観光振興対策と中山間の観光開発とともに、中部横断道の5年後の開通を視野に入れ、日本3大急流の富士川の名を全国に発信することが必要と考えている。来年から峡南高校のOBの方たちが富士川の舟下り



よみがえるか？
富士川舟下り

の実施に向け準備を進めている。

計画では当面「塩の華」から「なかとみ和紙の里」までの間を運行する計画で、将来的には、富士橋から身延町役場付近までの運行を考えている。本町もこの舟下りを富士川観光の1つと

考え、整備を進めている富士水辺プラザを舟下りの出発点として考えている。

今後この舟下りを支援しながら、観光資源の掘り起こしとともに、各施設を連携させた観光振興につなげていきたい。

問 義務教育の理念・目的を 実践するための議論を

答 検討委員会設置も含め 議論する

齊藤 欽也 議員



問 小中一貫教育の議論が盛んに行われている。望まれる学校教育について、教育委員会の考えは。

教育委員長 新しい教育基本法に基づき、各個人の有する能力を伸ばし、社会で自立的に生きる基礎を養い、国家および社会の形成者として必要とされる資質を養うことを目的としている。

学校においては子どもたちに確かな学力としての基礎的な知識、技能、思考力、創造力を育む、いわゆる知徳体を養うことである。助け合う心、思いやる心が特

に大切であると思っている。

問 本町にある3つの小規模校は学校教育の観点、社会性を養うということからも問題があるのではないかと。

教育長 自立できる子どもを育成するためには、ある程度の人数や、さまざまなタイプの児童がいる中で、社会性や集団として活動できるようなコミュニケーション



月1回の定例教育委員会～激論を交わす

ンを育むことが教育の中で必須だと考える。しかし、大規模校になじめない子どもたちを、大きく伸ばしていくための小規模校も必要である。

問 自主的自発的な強い子どもを育てるためには、統合を念頭に一貫教育の議論を率先して始めるべきではないか。

教育長 そのような議論をしていくことも必要と考える。

問 地域医療体制調査検討委員会は1月中旬に経営シミュレーションはできていたのに、2月中旬予定の検討委員会開催が遅れているのはなぜか。

町長 グラフなどを用いて分かりやすくするためと、一部、積み上げ数字の基礎部分で、ほかにも想定される場面もあることから、積み上げ数字の修正があった。

**問 F社の
産廃問題は**

問 産廃の散乱現場の現状はどうだったのか。

町民生活課長 一部について改善されていなかったため、昨年12月8日、県林務環境部と業者・町の指導を行い来春に植林すると回答を得た。

問 平成19年以降2度、指導しているが、また無視されたときの対応は。

町民生活課長 その時は事業の停止、認可の取り消しを行う。

問 ワクチン接種の助成に対する基本的考えは

答 新たな公費負担制度は早期に実施できるよう準備する

市川 淳子 議員



問 今回、質問予定のヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの助成については、厚生労働省が死亡事例が起きたとして、接種の見合わせという事態になった。しかし、このワクチンに限らず予防接種は必要である。今後の予防接種の助成に対する町の基本的な考えを伺う。

子育て支援課長 必要な予防接種については、保護者への予防接種内容の周知や副反応、体調変化に対する対処などの個別指導、医療機関への依頼と指示など、接種にあたっての準備に万

全を期し、できるだけ早期に実施できるよう諸準備を進める。

問 今回はワクチン接種が見合わせとなったが、予防接種の実施に対する町の基本的な考えを伺う。

子育て支援課長 経済的な助成も大切だが、予防接種は、子どもの体に接種するので、健康被害などが起きないよう実施に向け、間違いのない計画を立て、きめ細かにそれぞれの対象者に指導できる体制をとっている。

例えば、今回のヒブワクチン・小児用肺炎球菌のワクチンは、申請時に予診票を交付する際、保健師、助産師が万一の場合の対応や定期の予防接種との兼ね合いなどを説明する中で、接種に対する理解・判断をいただくようにしている。

問 これからの子育て支援に対する考えは

問 志村町長は、これまでさまざまな子育て支援の施策を打ち出し、実施してきた。

合併して富士川町となっても、子育て支援課を設置するなど、一貫してその方針は変えていない。

今後の子育て支援に対する考えを伺う。

答 積極的に子育て支援施策を展開したい

町長 私は、子どもは社会全体で産み育てるものという考えのもとに、子育て支援策を展開している。



子育て支援相談室でのアドバイス

町は国・県などの施策を活用しながら、時には本町独自の町の実情に合った施策を講じていくことが必要だと考える。すぐできることと、すぐしなければならぬこと、そして、将来に向けしっかりといかねければならないことの一つひとつの課題と必要性をしっかりと見極める中で、積極的に子育て支援の諸施策を展開していきたい。

問 かじかの湯へ薪ボイラー導入の考えは

答 ボイラーは通常稼働しているなのでその考えはない

永井寛子 議員



問 広大な森林を有する本町では、豊富な木質バイオマスを資源として有効活用することで、エネルギーの地産地消、新しい地域産業創出による里山再生、循環型社会の構築などを目指す施策が期待される。

町内の環境団体から「かじかの湯」への木質バイオマス燃料を導入する提言がされたが、町の考えを問う。**福祉保健課長** 温泉ボイラーは通常稼働しているため、今回の改修工事に併せて導入する考えはない。

問 今回提案の薪ボイラーは灯油ボイラーと併用できる

ので、灯油が高騰すれば薪に切り替えられる。年間の経費も安くなるなどメリットがある。

町長 町が経費をかけて設置しても、浮いた利益は指定管理者がもつていく。一番利益を受けるかじかの会で設置したらどうか、と返答した。

問 CO2の排出量取引の国内クレジット制が活発になっている。ボイラー燃料転換によるCO2削減の国内クレジット化に向け、新しい公共支援事業などを活用して調査・研究すべきと思うが、その考えはあるか。

町長 今後ボイラーの改修をする時があれば、そういうことを考えていかなければならないと思う。

問 廃棄物処理計画に数値目標を

町長 一般廃棄物処理計画の策定には、数値目標や目標へ向けての具体的な策が盛り込まれるのか。

町長 県が27年度までに10



バイオマスボイラーの導入の可能性は（かじかの湯）

%削減を目標にしている。本町の計画はそれ以上の数値目標を考えている。資源循環型社会構築のために環境教育やゴミの減量化に向けた諸施策を示す。

答 災害弱者への火災報知器の設置は

問 新聞報道によると、火災報知器の普及率は山梨県の場合、全国ワースト2位という。今年6月までにす

べての住宅に設置が義務付けられているが、本町では期限までの達成はできるのか。**総務課長** 本町では消防団の協力を得て広報活動を行ってきた。今後も普及向上に努めていく。

問 災害弱者への対応は。**総務課長** 火災報知器の幹旋や取り付けなど、町の電設安全協力会と協議、検討していきたい。

問 被災して3日間の 行動マニュアルの作成を

答 地域の実情にあった 行動マニュアルをつくる

長沢けん 議員



問 実際に大規模地震が発生したときの、町の対応策を問う。

総務課長 新町の地域防災計画は策定中である。

災害発生時は災害対策本部を設置し、被害状況の収集住民への広報、警察、消防からの情報収集、消防団の出動要請、被害者に対する避難場所の開設、救護、救援物資の調達、食料の確保などをを行い、さらに自衛隊や相互援助協定団体への派遣協力要請を求める。

問 ライフラインが崩壊している時に、災害協定を結んでいる団体にどのような

救済をしてもらうのか。

総務課長 町田市、町内の電設安全協力会、建築協議会と協定を結んでいる。

町田市は食料、生活必需品などの資機材の提供、車両の提供、ボランティアの斡旋、職員の派遣。

建築協議会は町の建物および施設の機能確保、資材の調達・仮設住宅の設置。

電設安全協力会は、電気設備の被害状況確認、応急復旧などの業務協定をしている。

問 役場職員、社協の災害ボランティアの被災時の活動内容は。

総務課長 災害ボランティアアセンターを開設し、ボランティア希望者に、生活情報の収集、看護補助、清掃炊き出し、救援物資などあらゆる分野に活動していた。

問 災害に強い町とは、被災して3日間の行動ができる町である。

新たに防災計画を作るなら、実際に使え町民にも分かり



東日本大震災の教訓を...

やすい独自の、被災して3日の行動マニュアルの作成を望むと同時に、各地区に備蓄倉庫設置を望む。

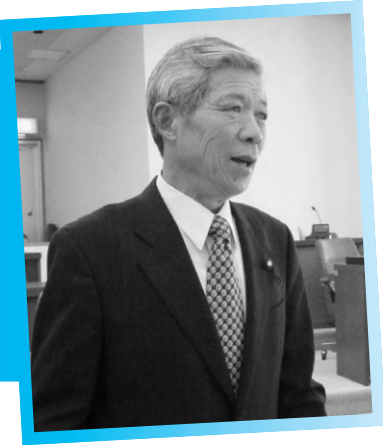
町長 行動マニュアルは大変重要だ。地域によって状況が違うので、その地域の実情に合った行動マニュアルを地域防災計画と併せて作りたい。

備蓄倉庫は各地区よりも町で備え、重点的に物資を送り込めるようにしていく。災害時の食料についてもやっていきたい。

問 高病原性鳥インフルエンザ発生時の対応は

答 危機管理対策本部設置要綱に基づき対応

芦澤 益彦 議員



問 本町の養鶏場で万一、インフルエンザが発生したときの町の対応策を聞きたい。

答 高病原性鳥インフルエンザが発生すると、その対応策は市町村を超えて、県危機管理対策本部設置要綱により、町では関係団体と連携し、休日・夜間でも連絡系統の対応策が作成されている。

問 本町の養鶏場の戸数、飼鶏羽数は調査しているか。

答 養鶏業者は6戸あり、ブロイラー農家が4戸、鶏卵農家が2戸である。飼鶏羽数はブロイラーが17万3千羽、鶏卵で2万5、

450羽が飼育されている。

問 養鶏場では予防策として、防鳥ネットを張ったり、小動物の侵入策や消毒剤も十分備蓄しなければならない。町として消毒剤助成の考えはあるか。

答 鳥インフルエンザの発生状況や、近隣市町の対応



平飼い養鶏場

状況も考慮する中で、考えていく。

問 観光の振興策について

問 地域活性化の起爆剤として観光ルートを決め、そのルートを走るマラソン大会開催の考えはあるか。

答 観光ルートを使用してマラソン大会を全国規模で開催することは、会場の整備や参加者の接待、宿泊施設の確保、安全なコースの設定、さらにはトイレ・給水場など、大会運営上、多くの条件を満たさなければ開催は厳しいと考える。

今後、本町の観光を振興する上で、観光コースを利用したアウトドアスポーツ大会の開催、例えばトレイルランとかで対応できるものを今後検討する。

問 町民の何人かを観光モニターとして委嘱し、本町の観光地づくりに反映しては。

答 町の観光振興を図る上で、多くの方々の意見を聞くことはとても重要・大切である。その手段として、モニター委嘱やインターネットなど活用した方法があるので、考えていきたい。

今後は、富士川町観光物産協会と連携する中で、さらなるPR活動も続けていく。

郷土の先人たち

銅版画家 深沢幸雄

澤登 昭文
(青柳町在住)



凍れる歩廊(ベーリング海峡)1978年

深沢幸雄先生は本町平林出身で、戦後日本を代表する銅版画家であり私たちの誇りです。

本町は先生より寄贈していただいた作品を含め58点を所蔵しており、一昨年は旧増穂町文化会館で百十数点に及ぶ展覧会が開催されました。

この度、富士川町制一周年記念式典において、初代名誉町民顕彰が贈呈されました。

先生は東京美術学校(現東京藝術大学)在学中、東京大空襲で右ひざを負傷されその後、油絵の大作が描けなくなり、いすに座つての制作活動として独学で銅版画に専念しました。

自作の製版道具を駆使し、次々と技術を開発し、「技法の神様」と称され、世界

にも例のない千百十点を超える芸術性の高い銅版画を制作されています。満87歳になられた現在も、泉のように湧き出るイメージに促され、制作活動を続けておられます。

深沢作品は自らの人生の変遷とともに、おおむね五期に分けられており、各期250〜300点を制作されています。

第一期 白黒による内面の探究

1955年「廃墟の貌」は記号へき第一作。「骨疾」とともに自画像と言われている。

第二期 メキシコ文明の光と影

1963年、メキシコ政府の依頼により銅版画の指導を行う。その後も数回メキシコを訪問し、メキシコの強烈な太陽のもと、数千年の民族の興亡の歴史を表現するために、色彩銅版画が登場する。

第三期 新大陸モンゴロイドの叙事詩

インディオの遠い祖先であるモンゴロイドの長く深い歴史の中に、人間の根源を見つめる重いテーマを銅版画に刻み込んでいる。「凍

れる歩廊(ベーリング海峡)」は代表作と言われている。

第四期 心象の叙情

人間の優しさや夢、淋しさや哀しさ等、日本人の持っている繊細な心を叙情詩のよう表現した作品群。「窓ガラスの日記」「星屑劇場」など、美しく透明感のある作品がある。

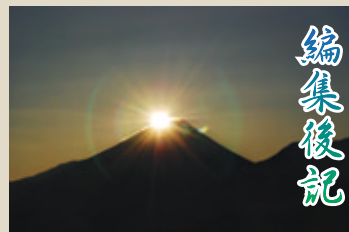
第五期 人間劇場

人間の様々な生きざま・ドラマをテーマに、今日も制作を続けている。「ギタラの響き」「光のあつた人」は、観る人に穏やかで詩情豊かな夢を抱かせてくれる。さらに「余技」とあつちやつ

ている陶芸・墨書・ガラス絵・詩とパステル画は、芸術性の高い作品で、多くの人々を魅了し続けている。

1955年以来、国内外の多くの展覧会に出品し受賞され、世界各国および国内の主要美術館に多数の作品が収蔵され高い評価を受けており、これら一連の業績により紫綬褒章を受賞されています。メキシコからは長年の功績をたたえ文化勲章(アギラ・アステカ)が贈呈されており、(深沢幸雄展・図録参照)

編集後記



3月11日、午後2時46分、M9の国内最大級の地震が発生した。その後、長野・新潟、富士宮でM6と余震が続いた。津波の被害は大戦の空襲よりも悲惨な状況であった。

また、福島原発も大きな被害を受け、東日本沈没とさえ報道された。三陸沖の大烈震がプレーに刺激を与えたい。全国で買いただめが発生したが、被害者に思いを寄せながら、冷静な判断が求められている。(神田 智)

議会クイズ

- 問題1. 平成23年度富士川町一般会計予算は概算で何億円ですか?
問題2. ごみの収集袋は1枚何円値下げになりますか?
問題3. 火災警報器設置の義務化は平成23年何月までですか?

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会広報の感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134
富士川町議会事務局 行

《締め切り》平成23年5月末日(当日消印有効)

《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え(1)42人(2)10人(3)8人
厳正なる抽選の結果、3名の方に賞品を発送しました。